

## 2019年度武蔵野大学認知行動療法研究所活動報告

雑誌名	武蔵野大学認知行動療法研究誌
号	1
ページ	47-48
発行年	2020-03-01
URL	<a href="http://id.nii.ac.jp/1419/00001215/">http://id.nii.ac.jp/1419/00001215/</a>

## ■ 活動報告

## 2019 年度武蔵野大学認知行動療法研究所活動報告

---

### 1. 研究所の目的と事業

武蔵野大学認知行動療法研究所は、武蔵野大学のブランドステートメントである「世界の幸せをカタチにする。」を臨床心理学の分野で探究し実現するため、認知行動療法に関する以下の活動を行うことを目的としている。

- 1.1 認知行動療法を中心とした高度な臨床及び研究
- 1.2 本学大学院博士後期課程及び臨床資格を持つ専門家のための教育
- 1.3 その他上記の目的を達成するために必要と認められる事業

### 2. 研究所の組織

所長：中島聡美(教授)

主任：小西聖子(教授)

研究員：浅野敬子(助教)、泉明宏(准教授)、大山みち子(教授)、小西啓史(教授)、  
小西聖子(教授)、城月健太郎(准教授)、辻恵介(教授)、中島聡美(教授)、  
藤森和美(教授)、矢澤美香子(准教授) 50 音順

客員研究員：現在 18 名

### 3. 活動報告

#### 3.1 臨床活動

令和元年 8 月より、臨床活動を開始した。主な認知行動療法プログラムとして、PTSD の認知行動療法である持続エクスポージャー療法 (Prolonged Exposure Therapy)、認知処理療法 (Cognitive Processing Therapy) を行っている。

#### 3.2 研究活動

「日本版複雑性悲嘆療法 (J-CGT) の開発とその有効性に関する研究」(平成 31 年度科学研究費助成事業基盤研究 (B) 研究代表者 中島聡美) および、「悲嘆に対する集団認知行動療法 (ENERGY) の有効性に関する研究」(平成 31 年度武蔵野大学しあわせ研究費助成事業 研究代表者中島聡美) を実施した。

### 3.3 研修・講演活動

- PE のグループスーパーヴィジョンの実施（5 回:5 月 25 日、8 月 24 日、10 月 26 日、12 月 21 日、2 月 29 日）
- 特別講演会「大切な人を失ったあとに – 悲嘆の理解とケア –」（講師 中島聡美）（2019 年 9 月 13 日、武蔵野大学有明キャンパス）を武蔵野大学生涯学習事業課の共催として実施した。

### 3.4 出版活動

武蔵野大学認知行動療法研究誌の創刊（2020 年 3 月）

### 3.5 運営委員会

5 回の運営委員会を開催した